第67回環境美化活動を実施しました

浜松かわ・みちボランティアクラブ

中部地域づくり協会の公益事業による「浜松かわ・みちボランティアクラブ」は、平成１９年に設立され、道路・河川・海岸の環境美化活動等を行っています。

活動の一つに、天竜川河川敷におけるミヤマシジミの保護活動があります。ミヤマシジミは、環境省や静岡県が貴重種に指定している小型のチョウで、コマツナギという植物を餌にしており、浜松市西鹿島地区の天竜川河川敷も生息域の一つです。

当クラブでは令和5年11月８日に会員２１名が参加し、浜松河川国道事務と共同で河川敷のコマツナギを保全するため、その周辺の草木の除草剪定作業を行いました。この場所では、今年の９月にミヤマシジミの生息を確認していますが、保護活動によりコマツナギの若木が自然繁殖し順調に育っていることが確認できました。

ミヤマシジミとは

羽を広げた長さが約 26～28mm小型のチョウの仲間でオスは羽の表は 青色、メスは黒色で、分布は本州中部の河原で確認出来、卵から成虫に至るまで２ヶ月を要 し、幼虫はコマツナギという決まった植物しか食べず、その後サナギになり 10 日くらいで成 虫となります。補食関係にあるコマツナギはサヤエンドウと同じマメ科の植物で種から発芽 し秋まで成長し、冬は落葉し翌春幹から芽吹き成長し秋にミヤマシジミが卵を産み付けます。

活動場所（天竜川西鹿島地区）